

## 平成29年度第1回千葉県後発医薬品安心使用促進協議会 開催結果概要

### 1 日時

平成29年7月13日（木）午後6時から午後7時30分まで

### 2 場所

京成ホテルミラマーレ 8階 カトレア

### 3 出席委員

柳澤委員、渡邊委員、木村委員、杉浦委員、本澤委員、三倉委員、鈴木委員、  
光本委員、渡辺委員、吉田委員、鶴岡委員、貞石委員、

### 4 会長・副会長の選出について

会長には光本委員が選出され、副会長には古元委員が選出された。

### 5 議事概要

#### (1) 各団体の後発医薬品安心使用促進の取組等について 後発医薬品の採用及び使用の課題に関する調査

##### 【意見】

単に後発医薬品に切替えるのではなく、長期収載医薬品が製造中止とならないよう、必要なものは残していくことも大事と考える。また、外用剤にかかる情報提供が少ないので、適正に行うようお願いしたい。さらに、確実に品質を保証したものを安定供給することが大切。

##### 【意見】

後発医薬品について品質が悪いものを公表して駆除してほしい。

##### 【回答】

国が品質についてブルーブックとして公表しており、そのような疑問を払拭する体制になりつつある。

##### 【回答】

品質情報が流通や現場にしっかり届けば実効性が上がると思うので、関係者が意識的に取組む必要がある。

##### 【質問】

当該調査の結果として、一つの成分について3～5品目の後発医薬品が適当というのは、回収率数%であるが、全体を反映していると思うか。

##### 【回答】

私見であるが、3～5品目は妥当であると思う。

**【意見】**

当院では後発医薬品が浸透してきたので、先発品の名前で薬を持ってくるよう看護師に頼んでも通じないことがある。

**【意見】**

自己負担の無い方の中には先発医薬品でいいと言う方が結構いる。意識改革を図る必要があると思う。

**【質問】**

保険者としては、国が認めたものが出回っているという認識であり、悪いものがあるとしたら、後発医薬品を推進する立場として不安になるので分かりやすく教えてほしい。

**【回答】**

内用固形剤については血中濃度の曲線が先発医薬品と重なるように製剤設計されている。同製剤のデータは薬剤師がすぐ出すことができる。若干ピークがずれるものがあり、患者、医師も切れ味みたいなものについて差を感じることはあると思うが、差はわずかなはず。また、後発医薬品特有の副作用はない。

**【質問】**

人によって感じ方は違うが、容態が悪くなるというレベルではない、あとの細かいところは医療関係者が判断して、最低ラインはキープしているということによいか。

**【回答】**

そのとおり。

(2) 市原健康福祉センター管内ジェネリック医薬品安心使用促進検討会議の取組み

**【意見】**

この取組みは素晴らしいと感じた。

**【質問】**

そもそも後発医薬品割合を高くしても日本全体の薬剤費は下がっていないのではないか。

**【回答】**

全体の薬剤費は上がっている。高額医薬品の出現を踏まえて、安く使えるものは安くということであり、後発医薬品を普及させようというのは間違っていないと思う。

**【意見】**

国は後発医薬品を推進する一方で、新薬には極めて高い薬価が付けるので、本当に薬剤費を下げようとしているのか疑念がある。

**【意見】**

新薬の出現により利益を得る患者がいるので、新薬の出現は肯定すべきであると思う。また、後発医薬品を数量ベースでなく、金額ベースで目標を定めてもいいのではないかと考えている。

**【意見】**

薬剤費はDPC病院分の正確な数値を把握できないことから、出荷ベースになっているということで誤解のないようお願いしたい。

(3) 今年度の事業計画案について

**【質問】**

オーソライズド・ジェネリックに置き換わっていけば、皆様が歓迎できるのではないと思うが、現状、何種類か。

**【回答】**

30数種類。

**【意見】**

30数種類では、まだ世の中を大きく変えるほどではないと思う。病院へのアンケート調査結果で「強制力を持った法整備をしないと進まない」という意見は社会の実態を表していると思う。一方で「啓発的教育は無意味」という意見もあるが、最近では「チャイルズ・トゥー・ペアレンツ」等の活動に取り組みまれて効果を上げるケースもあろうかと思う。